

婚礼大手「ノバレーゼ」、沖縄県で〈リーガルウェディング〉を支援

申請書類の翻訳・提出から婚姻届の証人まで、英語で完全サポート

沖縄のリーガル婚の実施組数、前年度比 25 倍強に急回復

ブライダル大手の(株)ノバレーゼ(東京、東証スタンダード上場)は、沖縄県でリーガルウェディングのサポートに取り組みます。

コロナ禍を経て、沖縄県でリーガルウェディングを挙げる海外カップルの数が、急激に回復しています。2023年度の実施組数は77組で、前年度比25倍強に増えています(※)。

今回当社は、運営する沖縄県の婚礼施設「サザンチャペル キラナリゾート沖縄」(島尻郡八重瀬町)に英語を話せるスタッフを配置し、挙式・披露宴の施行をサポートするほか、外国人カップルが婚姻届を提出するための事前資料の翻訳や提出、婚姻届の証人などを担います。

海外のカップルからは「リーガルウェディングを英語で完全対応してくれるところは少ない」と聞いており、トータルサポートできるのを強みにします。

2024年10月28日(月)には、当社「リーガル婚」第1号となる香港のカップルの挙式・披露宴をサポートします。沖縄県・八重瀬町としても初のリーガルウェディングです。

同日は、八重瀬町役場で、婚姻届受理証明書の授与式が開催されます。新郎新婦が同町役場に婚姻届を提出し、新垣安弘(あらかき・やすひろ)町長が八重瀬町第1号となる受理証明書を二人に手渡します。当社スタッフも同行し、通訳を兼ねながら手続き全般を手伝います。

当社は今後も、八重瀬町と連携しながら、思い出に残るリーガルウェディングを企画、サポートします。

沖縄で「インバウンド婚」活発化、増える「リーガル婚」

沖縄では、インバウンド客によるリゾートウェディングが、コロナ禍の低迷から抜け出し、活発化しています。来日して結婚式を挙げる外国人カップルが、日本の法に基づいて結婚する、「リーガル婚」の実施組数も大きく増加しています。

沖縄県が発表した「沖縄リゾートウェディング統計調査結果」(※)によると、2021年度の「インバウンド婚」の実施組数が0組と皆減したのに対し、2022年度は15組(うちリーガルウェディング3組)、2023年度は552組(同77組)と大幅に回復しています。

香港では特に、沖縄でリーガルウェディングを実施することがトレンドになっているといいます。今回当社で披露宴を実施する新郎新婦は「香港では、沖縄で法的に夫婦と認めもらうことがステータスになっています。今回の会場は、英語で対応してくれる会場が少ないなか、英語に完全対応でリーガルウェディングもサポートしてくれる。海に面した高台にあるのでロケーションも素晴らしく、ここに決めた」と話しています。

<当社施設について>

当社は、沖縄県初進出となる結婚式場「サザンチャペル キラナリゾート沖縄」を、昨年(2023年)7月にオープンしています。

沖縄本島南部の約1万平米の土地に、チャペルと披露宴会場が一体となった複合型の結婚式場(1F建て、延べ床面積約1069平米)を新築しています。

太平洋に面した本島最南端の式場で、海に面した高台に建つ、180度オーシャンビューの好立地です。那覇空港から車で約30分という、利便性の高さも売りです。

建物には琉球瓦や琉球石灰岩を使っているほか、やんばるの森をコンセプトにした披露宴会場を設けるなど、沖縄らしさを散りばめています。

※2023.7.13 報道資料:<https://www.novarese.co.jp/wpcms/wp-content/uploads/2023/07/20230713.pdf>



サザンチャペル キラナリゾート沖縄 (左)外観、(右)チャペル

会社概要

社名	株式会社ノバレーゼ[英文社名]NOVARESE, Inc. ※東証スタンダード市場上場		
住所	〒104-0061 東京都中央区銀座一丁目8番14号 銀座 YOMIKOビル 4F		
電話	03-5524-1122(代)	創立	2000年11月1日
資本金	100百万円(2023年12月末)	代表者	代表取締役社長 荻野洋基
従業員数	2578人(連結)、2098(単体) ※いずれもパート・アルバイト含む(2023年12月末)		
事業内容	ブライダル事業(婚礼プロデュース部門、婚礼衣裳部門、レストラン部門)・レストラン特化型事業		
	国内		海外
婚礼施設運営	ドレスショップ	レストラン	フォトウエディングとスパ運営事業
38施設	25店舗	9店舗	1店舗

※国内の施設数は開業予定も含まれます

報道各位からの問い合わせ先

(株)ノバレーゼ 広報担当:松井

TEL.03-5524-2299 E-mail: t-matsui@novarese.co.jp